LAN用SPD

JIS C 5381－21に対応
国土交通省 公共建築工事標準仕様書に準拠
RoHS指令対応

写真左：PE1000N
写真右：PE1000N−C

特長

1. 劣化確認機能付き（PE1000N-C）
   LED表示　別途電源不要
2. 高速LAN回線（1000Base-T）対応
3. Power over Ethernet
   （PoE Plus）対応
4. 雷保護性能を大幅に向上
5. DINレール対応
   （導電性DINレール使用の場合、一括アースが可能）
6. STPケーブル対応

用途

LAN回線に接続された機器などの保護用
（ネットワークカメラ、デジタルレコーダ、スイッチングHUBなど）

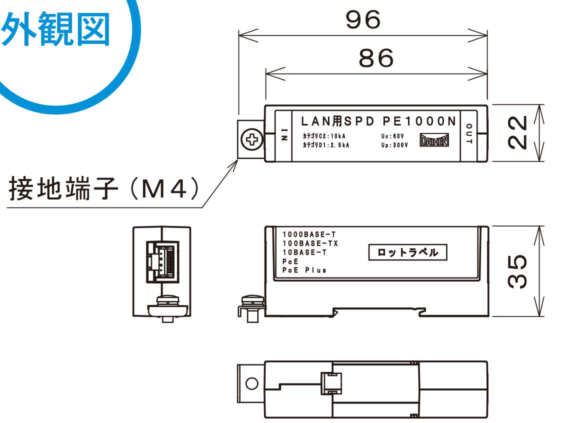
性能仕様

<table>
<tr><th colspan="2">性能・仕様　＼　型番</th><th>PE1000N</th><th colspan="3">PE1000N-C</th></tr>
<tr><td colspan="2">適用回線</td><td colspan="4">LAN（1000BASE-T,100BASE-TX,10BASE-T,PoE,PoE Plus）1回線</td></tr>
<tr><td colspan="2">適用ケーブル</td><td colspan="4">Cat.5e UTP/STP（RJ45）</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送性能</td><td colspan="4">100MHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大使用電圧Uc</td><td colspan="4">DC60V</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格電流</td><td colspan="4">1.2A</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格電力</td><td colspan="4">60W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電圧防護レベルUp</td><td>10kA印加時</td><td colspan="4">300V</td></tr>
<tr><td>5kA印加時</td><td colspan="4">250V</td></tr>
<tr><td rowspan="2">インパルス耐久性
（8線の合計値）</td><td>カテゴリC2</td><td colspan="4">10kA</td></tr>
<tr><td>カテゴリD1</td><td colspan="4">2.5kA</td></tr>
<tr><td colspan="2">絶縁抵抗（IN-接地端子間）</td><td colspan="4">100MΩ以上（DC60V）</td></tr>
<tr><td>挿入損失（100Ω）</td><td>DC～100MHz</td><td colspan="4">1.0dB以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">導通抵抗（1線あたり）</td><td colspan="4">（1Ω）</td></tr>
<tr><td colspan="2">インパルスリセット</td><td colspan="4">30ms以下 DC60V 1.2A（PoE給電端子間）</td></tr>
<tr><td colspan="2">交流耐久性</td><td colspan="4">0.5A 60Hz 1秒 5回</td></tr>
<tr><td colspan="2">過負荷故障モード</td><td colspan="4">mode 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温湿度範囲</td><td>-40°C～70°C RH93%以下</td><td colspan="3">-25°C～70°C RH93%以下</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">SPD劣化確認</td><td rowspan="3">なし</td><td rowspan="3">Checkボタン</td><td>緑</td><td>正常</td></tr>
<tr><td>赤</td><td>要交換</td></tr>
<tr><td>不点灯</td><td>故障</td></tr>
</table>

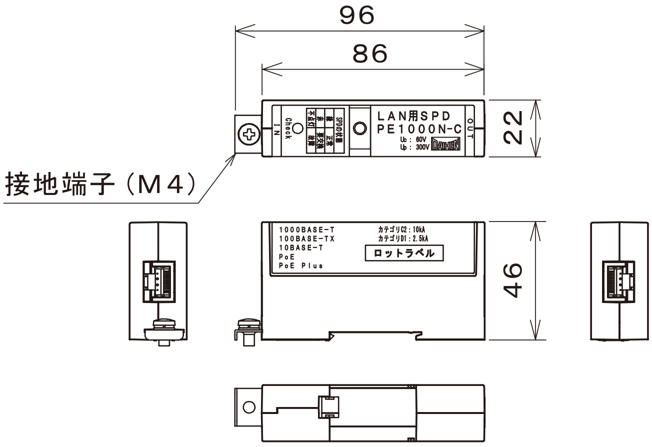
株式会社ダイヘン

外観図

PE1000N

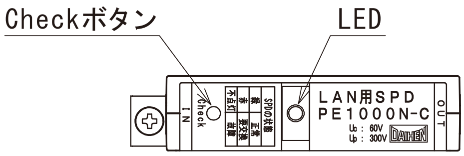


PE1000N-C



保守点検

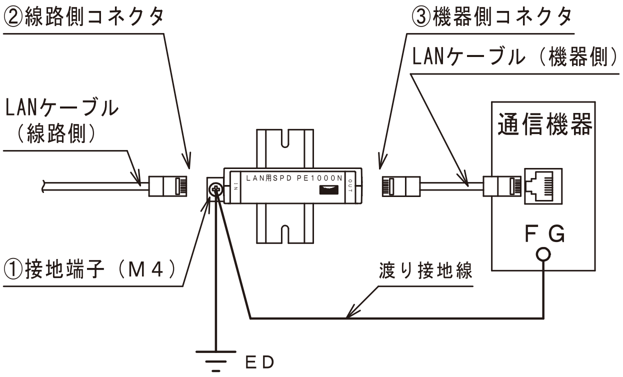
PE1000N-Cの場合



Checkボタンをボールペンの先等で押し(1～2秒)、LEDの点灯を目視することで簡単にSPDの状態を確認する事ができます。
また、点灯時にSPDを取り外す必要はありません。

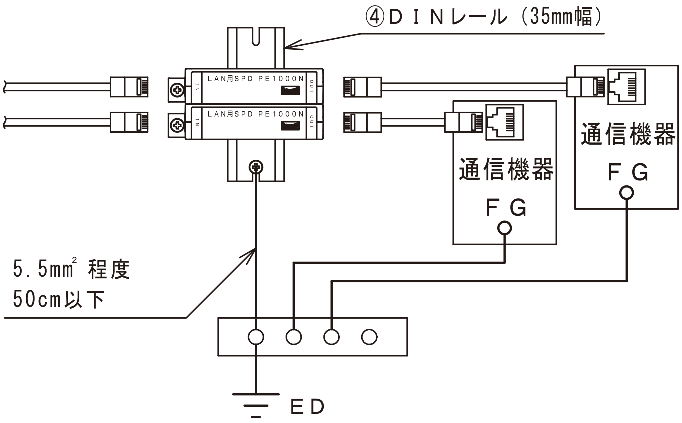
LED　緑:正常　 赤:要交換　 不点灯:故障

接続方法



①接地端子
　機器接地EDおよび機器FG端子に接続してください。
②線路側コネクタ(RJ45)
　線路側のLANケーブルをSPDのIN側へ接続します。
③機器側コネクタ(RJ45)
　機器側のLANケーブルをSPDのOUT側へ接続します。

[DINレールをアースとして利用する場合]



④DINレール
　DINレールの表面をテスターの抵抗測定モード(導通モード)で軽く接触させて導通の有無を確認してください。
　アルマイト加工処理等がされており、導通が無いものはアースとして利用できません。

◆この印刷物は2022年7月時点のものです。本カタログの寸法・仕様等は製品改良のため、予告なしに変更することがあります。

株式会社ダイヘン
https://www.daihen.co.jp

お問い合わせ先
〒532-8512 大阪市淀川区田川2-1-11
TEL 06-7177-6760　 FAX 06-6308-0962